

凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

- 便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

お願い

- 外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- 周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。

■ 設定のしかた

- 凍結防止の前に

リモコンで、「オート便器洗浄」を「オートふた開閉」(GG2・GG-800・GG1・GG1-800以外)を



■ 凍結防止中のウォシュレットの動作

- 「運転」ランプが点滅する
- 約10分間隔で便器洗浄(約4.8L)する
- 約50mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)



オート便器洗浄		オートふた開閉 ^{※2}
自動で便器洗浄する/しない オート洗浄	自動で洗浄するまでの時間を 変える 水が流れるまで^{※3}	自動で便ふたを開閉する/しない オート開閉
1 洗浄 [入] 押す 押すたびに切り替わる 自動で便器洗浄 ※オート洗浄ランプで確認(P.26) 「する」とき [点灯] 洗浄 「しない」とき [消灯] 洗浄 <設定完了>	1 止 [] リモコンランプがすべて点滅するまで、押す(約10秒) 2 洗浄 [入] 押す 押すたびに切り替わる 自動で洗浄するまでの時間を 「約5秒間」にするとき [ピピッ] 「約10秒間」にするとき [ピーッ] 「約15秒間」にするとき [ビッ] 3 止 [] 押す <設定完了>	1 開閉 [入] 押す 押すたびに切り替わる 自動で便ふたを開閉する/しない ※オート開閉ランプで確認(P.26) 「する」とき [点灯] 開閉 「しない」とき [消灯] 開閉 <設定完了>

※2 GG2・GG2-800・GG1・GG1-800以外
 ※3 「便ふた閉止後洗浄モード」が「入」のときは、P.32の「ふたが開まるまでの時間(開まったあと便器洗浄)」で設定してください。*

■ ご使用のタイプを選択してください



凍結予防方式	便器品番
流動方式	品番に「H」なし
ヒーター付便器・水抜併用方式	品番に「H」あり

流動方式

ヒーター付便器・水抜併用方式

流動方式（ヒーター付便器・水抜併用方式以外）



便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。



せいけつ	その他設定	
立ち上がってからパワー脱臭を自動でする/しない オートパワー脱臭	便器とウォシュレットの水を一定の間隔で自動で流す 凍結防止	電子音を鳴らす/鳴らさない 電子音 ^{※1}
1 止 リモコンランプがすべて点滅するまで、押す(約10秒)		
2 便器 押す 押すたびに切り替わる 立ち上がってからパワー脱臭を自動で <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 「する」とき ビープ ↑↓ 「しない」とき ビープ </div>	2 位置 押す 押すたびに切り替わる 便器とウォシュレットの水を一定の間隔で自動で流す設定を <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 「する」とき ビープ ↑↓ 「しない」とき ビープ </div>	2 おしり 押す 押すたびに切り替わる 電子音を <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 「鳴らす」とき ビープ ↑↓ 「鳴らさない」とき ビープ </div>
3 止 押す <設定完了>		

※1 各設定を変更するときは、電子音を「鳴らす」に設定しておいてください。



ヒーター付便器・水抜併用方式

- 1 水抜き栓を操作して、給水を止める
 - お願い
 - ・止水栓は開けたままにしておいてください。(製品内部の水が抜けて凍結破損するおそれ)
 - 2  を押してタンクの水を抜く*1
 - 3  を押す (給水管の圧抜き)
 - ウォシュレット用電源プラグ
 - 便器ヒーター用プラグ
 - 4 電源プラグを抜く
 - 5 配管の水を抜く
 - ①カバー・給水フィルター付水抜き栓を取りはずす
 - ・①ドライバーでゆるめた後、引っ張る
 - ②水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜き栓・カバーを取り付ける
 - ・①ドライバーで確実に締める
 - 6 電源プラグを差し込む
 - ・「運転」ランプが点灯する
 - 7 ウォシュレット内を保温する
 - ①  リモコンランプすべてが点滅するまで押す (約 10 秒)
 - ②  押す
 - ・ウォシュレット本体がリモコンの信号を受け付けると「ビーツ」という電子音が鳴ります。
 - ③  押す
 - ・ウォシュレット本体表示部の「節電」ランプ (オレンジ色) が点滅します。
- 再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。
- お知らせ
- ・ヒーター付便器は室温が 5℃以下になると自動でヒーターが入ります。
 - ・凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。
(タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因) (凍結して製品破損などをおこす原因)

ご注意 「お掃除リフト」で本体が上がった状態での水抜きはしないでください。

水抜きする

- 1 ■流動方式のとき
止水栓または元栓を閉める
- ヒーター付き便器・水抜併用方式のとき
水抜き栓を操作して、給水を止める
- お願い
 - ・止水栓は開けたままにする
- 2  を押してタンクの水を抜く*1
- 3  を押す (給水管の圧抜き)
- 4 電源プラグを抜く



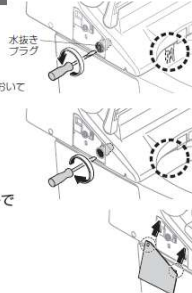
5 配管の水を抜く

*水を抜いた後、カバーは穿した状態にしておいてください。

6 水抜きプラグを空回りするまでゆるめる

・ノズル付近から水が出る (水がすべて抜けるまで約3分かかります。)
*水抜きプラグは取りはずしてきません。

7 水抜きプラグをマイナスドライバーで確実に締め、カバーを取り付ける



■凍結のおそれがあるときは
・便器のたまり水 (貯水) に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
(不凍液はそのまま凍結せず、使用前に戻取し、廃棄処分してください。)




■再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。(P.48)

*1 「便ふた閉止後洗浄モード」を「入」に設定しているときは、便ふたが開まったあと便器洗浄します。*2
*2 GG2、GG2-800、GG1、GG1-800以外

再通水のしかた (水抜き後)

「ヒーター付便器・水抜併用方式」の場合は、作業前に、下記を行ってください。

ウォシュレット内の保温をやめる (リモコンで設定します)

- ①  リモコンランプすべてが点滅するまで押す (約 10 秒)
- ②  押す
 - ・ウォシュレット本体がリモコンの信号を受け付けると「ビーツ」という電子音が鳴ります。
- ③  押す
 - ・ウォシュレット本体表示部の「節電」ランプが節電の設定状態に対応した表示に戻ります。

1 止水栓または元栓を開けるまたは水抜き栓を操作して、給水する

・配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する

2 電源プラグを抜いているときは電源プラグをコンセントに差し込む

・「運転」ランプが点灯する

3 ノズルから水を出す

- ①便座の左側を押します。
- ②リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから約 5 分間水を出す (ノズルから水が出るまで約 1 分かかります。水は紙コップなどで受けてください。)
- ③リモコンの「上」ボタンを押す



水でぬらしたやわらかい布 (傷つきを防ぐため)

■残水が凍結して水が出ないとき
・トイレ内を暖め、お湿に濡した布で給水ホースと止水栓を温める